

いわての森林の感謝祭に向けた苗木のスクールのステイについて

1 はじめに

令和7年10月11日に北上市で開催された「第15回いわての森林の感謝祭」では、その機運を高めるとともに、森林づくりの大切さを理解してもらうため、北上市立東桜小学校の苗木のスクールのステイにより育てられたエドヒガンザクラの苗木が、記念植栽されました。



いわての森林の感謝祭での記念植樹

2 苗木のスクールのステイとは

苗木のスクールのステイとは、令和5年に陸前高田市で開催された全国植樹祭のレガシーのひとつとして、地元小学校に植樹祭で使用する苗木を引渡し、子供たちが毎日の水やりや観察を通じて樹木の生態や緑化の大切さを学習する取組です。

この取組に賛同いただいた東桜小学校に対し、エドヒガンザクラの苗木10本を引渡し、感謝祭までの約4か月間、苗木の育成管理をお願いしました。

3 スクールのステイ苗木の引渡し式

苗木の引渡しは、6月20日東桜小学校の4年生の子供達に対して行われ、県庁森林整備課の中村主任が「森林の役割」と「苗木への水やりの方法」を説明しました。

子供たちは、「感謝祭の日まで大切な苗木を大事に育てます」と力強く宣言してくれました。



苗木引渡し式での水やり方法の説明

4 苗木の育成過程

苗木は、日当たりの良い校舎南側の花壇とやや日陰になる校舎東側の正門付近に設置しました。

引渡しの2週間後「葉の一部が茶色になってきた」と学校から連絡がありました。強い日差しで土の表面が乾燥し、根から十分に吸水できずに起きた部分枯れと判断されました。バケツに水を張りポットごと浸水し十分に吸水させ、やや日陰に苗木を移し、その後は丁寧な水やりで全部枯れを回避することができました。

5 終わりに

一時は苗木が枯れかけるなどのアクシデントもありましたが、子供達は毎日交代で水やりを欠かさず、また、その生育を注意深く観察し続けてくれました。夏休み中は先生の協力も得て、長期間に渡る苗木の管理をやり遂げました。

感謝祭ではこの苗木を知事に引渡し、無事に記念植樹をすることができました。東桜小学校皆さんの苗木のスクールのステイへの熱心な取組に、心から感謝したいと思います。